

【国際交流センター「多文化間交流教育クラス」について】

「多文化間交流教育クラス」は、KUINEP 受講者や英語圏への留学を希望する京都大学の学生のために、国際交流センターが開講するクラスです。

登録時の注意事項

- (1) 全学向け多文化間交流教育クラスは、各学期 15 週間開講します。希望者には、修了認定を行いますが、単位は取得できません。但し、全学共通科目として提供されている科目は単位取得できますので、所定の手続きを行ってください。
- (2) 正規学生・大学院生、その他京都大学の学生の身分を持つ人（留学生を含む）は、だれでも申し込むことができます。
- (3) 受講希望者は、『多文化間交流教育クラス受講届』を、所属学部または国際交流センターの事務窓口にて期間内に出してください。

多文化間交流教育クラス Intercultural Communication Class	IC
めい クラス名 Title Science Today, Science Tomorrow - listening and speaking -	プレースメントテスト [ない] めんせつ 面接 [ない]
こうし 講師 Instructor あおたに まさやす 青谷 正妥 (AOTANI, Masayasu)	
きょうかしょ 教科書 Textbook There is no required or recommended textbook. Handouts and science-related Web sites will be used as appropriate. Students are encouraged to make suggestions as to the topics of our discussion. クラス配布のプリントやホームページを使います。	
じゅぎょう すす かた 授業の進め方 Contents of the class There will be a mandatory reading assignment every week to prepare you for the following week's session. These reading assignments are the "mission-critical" components of this course. We will focus on developing listening comprehension and productive fluency, with the instructor as a facilitator and a moderator. It is an opportunity for you to practice input processing and to improve productive skills in a foreign language. 前の週の宿題（読み物）に基づいて、日本人は英語、留学生は英語や日本語でサイエンスの話をします。聴解力の養成と発話の流暢さを培う訓練です。	
どうたつ もくひょう 到達の目標 Goals of the class Our goal is not to learn science but to use scientific topics as a launching pad for our linguistic development. This means proficiency in Japanese and/or English for international students and communicative English skills for Japanese students. サイエンスその物を学ぶのではなく、サイエンスの話を踏み台にして言葉の力をつけます。	
ひょうか ほうほう 評価の方法 Assessment Attendance is the only criterion used. 出席重視。語学の授業と同じで、出て来なければ意味がありません。	
た ちゅうい その他の注意 Miscellaneous Though this course carries no credits, your regular attendance and active class participation are required. Please do not waste your time and the instructor's by not taking the course seriously. 単位は有りませんが、「物見遊山」的なクラスではありません。サークルやアルバイトを優先する人は最初から来ない様に。太く長い英語学習の一環として、このクラスを位置付けて下さい。	

多文化間交流教育クラス Intercultural Communication Class	IC
クラス名 Title 英語圏への留学のためのフルコース	プレースメントテスト [ない] 面接 [ない]
講師 Instructor 青谷 正妥 (AOTANI, Masayasu)	
教科書 Textbook 適宜 handouts を配布。又、各種 Web sites を指示。	
授業の進め方 Contents of the class 第一部 留学 1. 留学の現状とメリット (アメリカを中心に) 2. 世界の笑いもの、日本の大学教育：日米教育比較 3. 交換留学制度と海外研修について 4. 米国留学百科事典 A) 手続きと書類 B) 各種の奨学金 C) 日本人の盲点 D) 留学関係資料 第二部 英語！英語！！英語！！ 5. 自分の英語力を知る。 6. 英語の学び方を学ぶ：大人が英語を学ぶとは？ 7. 四技能の総合的・統合的養成：何をどう学ぶか。 第一部では留学の現状とメリット、日米教育比較、交換留学、海外研修の説明をやり ます。更に、手続き面を含めた米国留学の詳細を御話しします。第二部は英語力 の付け方です。何を為すべきかを網羅・列挙し、訓練法を説明します。	
到達の目標 Goals of the class 日本の大学教育の惨状を理解・反省し、留学についての知識を増やし、英語力を付 ける術を学ぶ。(注：英語力その物はこんなコースを取っただけで身に付く筈があり ません。各自の努力が肝要です。これは学び方を学ぶクラスです。実際に学ぶのは 皆さんだと言う事ですね。何でもそうですが。)	
評価の方法 Assessment 出席を特に重視します。	
その他の注意 Miscellaneous 単位は有りませんが、「物見遊山」的なクラスではありません。全クラスに出席して 下さい。サークルやアルバイトを優先する人は最初から来ない様に。全クラスに出 席し、言われた事をきちんとやってから教員の悪口を言いましょう。	